

あす민ノート
2014.10.31

Asumin Note 2

information magazine

KEYWORD

「仕事と育児」の両立が普通になるように

- 伝えたいヒトコト：NPO法人ママワーク研究所
- ステップアップ講座：あす민活用で団体のPRを強化しよう
- 明日の共働を考える：地域とNPOとの共働
- あす민美術館：「一枚の紅葉」市川伸介さん作
- あす민オススメ事業：NPOの組織基盤強化講座
- 新規登録団体：2014.4～2014.9(51団体)
- 企業の“新”社会貢献：川崎重工業株式会社





INTERVIEW

伝えたい ヒトコト

福岡市内の注目したい活動を行う
NPO・ボランティア団体を訪問。
キーパーソンとなる方に、
話をうかがい、活動のヒントを
みなさまにご紹介します。

NPO 法人 ママワーク研究所



理事長
田中彩さん(たなかあや)



01



02



03

ママ達のスキルを目の当たりにして

－活動を始めた経緯は？

「出産を機に退職しましたが、やっぱり働きたいという想いがあり再就職をしました。しかし、実際にやってみると時間の問題などから育児と仕事の両立は難しく、仕事を断念しました。それから育児に専念し、学校でのPTAの活動やお母さんたちが動かしているイベントを見かけることが増えたんです。その時、テキパキとした段取りや、わかりやすい資料づくり、現場での判断力など、ママが素晴らしいスキルを持っていることに気がついて、『家庭にいたるだけではもったいない！これを社会に活かしたい！』と思ったのが、きっかけです。話をしている中で、『いつかはまた仕事をしたい』というママの声も所々に聞こえてきていました。」

－活動内容は？

「子育てしながらも、自分らしく働きたいママのサポートをしています。内容は大きく分けると4つです。1つ目は、ママワークスクールと言って、社会人としてのスキルアップや働きながらもしっかり子どもに向き合うコツなどの講座を行っています。2つ目は、企業への働きかけです。育児で時間的制限がありますが、スキルを持った方はたくさんいます。フルタイムでない働き方をつくってみませんか？と企業側に柔軟な働き方を提案しています。3つ目は、ママワーク研究所で仕事を請け負っていただく『ママオフィス』です。仕事の感覚

や、働く楽しさを改めて感じてもらうのが目的で、複数人でひとつの業務を担当し、子連れ出勤・在宅・融通が利くスケジュールでOKという柔軟性の高さが特徴です。」

－ママワークらしい活動といえば？

「4つ目ですが、『笑顔で働きたいママのフェスタ』を開催しています。ママによるゴスペルのステージや、第一線で働くママのパネルディスカッションなど、自分らしく活躍する女性の姿を紹介し、『私もやってみようかな！』という勇気を持ってもらうためのイベントです。年に1度開催し、今年は3,000人ほどの方にご来場いただきました。その中でも、今年が目玉イベントが『ママ☆ドラフト会議』です。ママ人材の再就職を目指すコンテストで、出場者はステージにて自分のスキルと熱意を語るスピーチを行いました。当初は、『私がスピーチなんて…』と自信なさげな方も多かったですが、自己評価を一緒にいき、企業目線で見てもこのスキルは役に立つんだと実感することが、自信につながったようです。内容や立ち振る舞いも事前に練習を重ねたおかげか、当日は120%の力で皆さん堂々と話していました。約20名の企業経営者を審査員としてお招きしていたので、優れたママ人材がいるアピールもできたと思います。」

輝くママが社会に増えること

－嬉しかった経験は？

「ママオフィスを経験した方が、仕事の

やりがいを感じて『もう一回働きたい！』と再就職したことがあって。はじけるような笑顔でその報告を受けました。やっけていて良かったと思った瞬間でした。ママが夢を持って輝くことは、子どもにとってもすごく良いことだと思います。」

－目指す未来は？

「社会全体で、働き手となる人材が少なくなってきたのは事実です。『柔軟な働き方』が社会に浸透してくれば、ママの力はとても大きいものになります。例えばですが、幼稚園バスの送り迎えなんかで、ママさん同士が会った時『最近、仕事どう？』という会話が生まれるような社会になったらいいなと思います。『育児と仕事の両立が普通になる』、そんなイメージもっています。」

団体情報

平成24年設立。育児期女性が柔軟に働ける環境を提供し、母となった女性の緩やかな社会復帰推進および、企業が有能な育児期女性を活用できるよう支援し、経済活動の発展に寄与することを目的とする。

〒810-0061 福岡市中央区西公園1-9

【FAX】092-732-7663

【MAIL】tanaka@mamawork.net

【HP】http://www.mamawork.net

01 ママゴスペラーズによるステージ

02 ママ☆ドラフト会議でのスピーチ

03 子連れで働けるママオフィスの様子



COPRODUCTION COLUMN

明日の 共働を考える

共働には、さまざまな姿があります。
福岡がもっとよくなる共働とは？
その最前線にいる方々に、
共働をテーマにした執筆をお願いします。

地域と NPO との共働



執筆者

朝廣和夫さん(あさひろ・かずお)

九州大学大学院 芸術工学研究院
環境デザイン部門 准教授

- 01 油山での明るい森づくりを目指す市民活動
- 02 田舎では、しめ縄を地域住民でつくる風習が残る
- 03 朝廣先生による講義の様子

「地域との共働」は、なぜ必要か？

「地域とNPOとの共働」について、緑地保全を専門とする視点から「あすみんノート」という語に甘んじて自由に執筆したいと思います。

日本における「地域」は、古くから稲作を中心とした年中行事や、共有林管理、災害時の復旧まで、営みの拠点として機能してきました。明治以降、公助の役割が増加し、人口の約7割が都市に居住するようになったとはいえ、未だに下町や田舎に代表される「地域」は、互助、共助として様々な役割を担っています。一方、グローバルな視点から考えると、労働者の移動による多民族国家化が進み、「地域」は積極的に保全しなければならない対象です。政治・経済がもたらす貧困等の格差は地域内外に存在し、弱者の居住環境、食事、教育へのサービスは限られ、災害時には弱者に被害が集中することもあります。

このような中、近年、インド出身の経済学者であるアマルティア・セン(1998年にノーベル経済学賞受賞)は「共感性・関わり合い・利他性」(コミットメント)を重視し、弱い立場の人々が「潜在能力」を生かし社会参加することの重要性を主張しています。これは2001年、センと緒方貞子氏の共同議長による「人間の安全保障委員会」の取組として展開しました。人間一人ひとりに着目し、個人の自立と社会



01



02



03

づくりを考える。グローバル社会における「地域」とは、「個人がコミットメントできる社会」、そのような社会の実現のため、共働が必要です。特に、都市化、近代化の中で個人が孤立し、互助を支える地域コミュニティが弱体化する中、地域における共助、またNPOの役割は増していると考えます。

地域における環境保全ボランティア活動の意義

私は、1998年頃から九州大学芸術工学部(当時、九州芸術工科大学)の重松敏則教授と市民ボランティアによる里山保全活動に関する教育・研究、そして、市民活動の展開に携わってきました。当時も今も、現在の社会問題を解決するには、市民による環境保全活動が要だと考えています。これには、いくつか理由があります。

1つは、日本は雨量が多いこと。梅雨の時期に田植えをするのは、単に米の生産だけではありません。田んぼに雨水を溜め、河川や水路への負荷を減らし、村や町を守るためでもあります。地域は共同で草刈をし、ため池を守り、近代化したとはいえ農林地を継承してきました。田舎に実家を持たれている方は自明と思われるかもしれませんが、様々な「手入れ」や「共働」が、都市と田舎の安全・安心を支えています。農林地を保全する農林家や農村に住む人々の暮らし方は、広く環境保全に資する暮らしとも言え、環境保全型の暮らしを営む人口が、田舎には一定規模、必要です。人口減少と都市への人口集中が進む時代だからこそ、市民の田舎リテラシーを上げることが重要です。

もう1つは、「体験」は「経験」になるという視点です。里山保全をテーマとした環境保全ボランティア活動では、田植えや植林体験に留まらず、棚田の石積みや、樹木の枝打ち・間伐などの管理作業も実施されています。日帰り、数日、1週間、中には数ヶ月宿泊して行うプログラムもあり

ます。これらの活動の中で得られるものは、作業成果だけでなく、田舎の人々・自然との出会い、伝統技術の素晴らしさや田舎の景観の美しさ、美味しい水や食事、自然の多様性など多岐に渡ります。一度知ったその豊かな体験は、経験として蓄積され、いつしかそれを自己実現するために、生活の中に少しずつ取り入れられていきます。環境保全活動は、田舎リテラシーを上げるのに効果的なのです。

「つなぎ」を考え実現する「コーディネーター」

2014年8月1日に「あすみん」で「ボランティアコーディネーター養成講座」の講師を担当しました。NPOの交流センターで「コーディネーター」を育成するのは、いくつか大きな社会的役割があると考えています。1つは、「地域」の定義が多様だという点です。先に書いた伝統的な稲作を継承する農村共同体の地域は、農事やお祭り、出事を司る仕組みが主たるものかもしれません。

しかしながら、生物多様性からみた自然環境の保全、いざという時の災害ボランティア活動などはどうでしょうか。そこに生息する生き物や、普段付き合っていない都会の人々との「つなぎ」が必要です。互助と共助、自然と人々を上手に繋ぎ、「テーマ型の地域」をつくる「コーディネーター」が必要とされています。もう1つは、それを実現できる「人」が資源だという点です。互助だけでなく共助という活動は、地域内外、そして国境を越えて、個人同士が繋がりが、広がっています。個人が、グループが地域で行う共働は、常に最先端であり、ネットワークが支え合う、そんな時代が実現しているのではないのでしょうか。

お互いに学びあい、そして、社会の課題に対してタスク(Task)を設定し共働する。そのような流れが加速されることを願っています。



ASUMIN RECOMMEND

あすみん オススメ事業

あすみんにはみなさんが参加できる
さまざまな事業があります。
ここでは、その中でも
旬な事業をお伝えします。

NPOの組織基盤強化講座

開催概要

- 《第1回》NPO法人基盤強化の概要と広報戦略
- 《第2回》魅力ある広報発信力
- 《第3回》事業資金の獲得
- 《第4回》企業が作る販売戦略の企画を学ぶ
- 《第5回》企業が顧客を獲得するための営業を学ぶ
- 《第6回》ICT企業による地域社会の情報化戦略
- 《第7回》ICT企業の人財育成のシステムを学ぶ

講座の詳細

主催：あすみん
対象：NPO法人などの実務を担うスタッフ
受講料：無料
定員：20名

あすみんホームページ

<http://www.fnvc.jp>

あなたのスキルアップが組織の力になる

社会課題解決のために活動し、事業確立や拡大を考えるNPOなどを対象に、組織運営基盤を強化する講座を開催します。組織の中核となる団体のリーダーやスタッフのスキルを強化し、長期的視野で組織を発展させることが目的です。

《第1回》…「広報・情報の基礎」編

NPO法人基盤強化の概要と広報戦略

組織の基盤強化の基本と課題解決のヒントを考え、共感や支持を得て、価値を生み出す情報発信のデザインを学びます。
【講師】NPO法人九州コミュニティ研究所 理事長 松野 康臣 氏
【日程】11月12日(水)19:00～21:00

《第2回》…「広報・情報の実践」編

魅力ある広報発信力

事業実施において重要な「人を集める」こと。イベントなどのチラシデザインのコツや魅力づくりを実践しながら学びます。
【講師】NPO法人九州コミュニティ研究所 理事長 松野 康臣 氏
【日程】11月19日(水)19:00～21:00

《第3回》…「資金調達の基本・実践」編

事業資金の獲得

組織を運営するうえで誰もが悩む、大切な「資金調達」。事業資金の計画・調達の考え方について学びます。
【講師】日本政策金融公庫 九州広域営業推進室・広域営業推進室長 湯川 剛匡 氏
【日程】11月25日(火)19:00～21:00

《第4回》…「企画・販売戦略」編

企業が作る販売戦略の企画を学ぶ

NPOが活用できる企業ビジネスの実例として、トヨタ自動車を持つ市場を捉える力、また販売戦略の企画を学びます。
【講師】トヨタカローラ博多株式会社
【日程】12月3日(水)19:00～21:00

《第5回》…「営業戦略」編

企業が顧客を獲得するための営業を学ぶ

NPOが活用できる実例として、トヨタ自動車のマーケティング手法や顧客を獲得するための営業を学びます。
【講師】トヨタカローラ博多株式会社
【日程】12月10日(水)19:00～21:00

《第6回》…「情報・事業化」編

ICT企業による地域社会の情報化戦略

ICT企業が考える、地域の情報通信を活かした地域社会のシステム・生活スタイルから、事業化の可能性を探ります。
【講師】富士通九州ネットワークテクノロジー株式会社
【日程】2015年1月中(※調整中)

《第7回》…「運営・人財育成」編

ICT企業の人財育成のシステムを学ぶ

ICT企業が実践する人財育成プログラムの例から、組織の人財育成のために必要となる要素を学びます。
【講師】富士通九州ネットワークテクノロジー株式会社
【日程】2015年2月中(※調整中)

あすみんの2014年度 後期スケジュール予定表 (詳細な日程は、あすみんにてお尋ねください)

	11月	12月	1月	2月	3月
①相談	●	●	● NPO会計・税務個別相談	●	●
②講座	●	● NPO法人設立認証の説明会(市民局 市民公益活動推進課による講座:毎月第2火曜日)	● NPO法人入門講座(基礎編・運営編)	●	●
③交流	●	●	● 市民活動・ボランティアフォーラム	●	
		● あすみん交流会(新規登録団体向け)			
	●	● 先輩NPO訪問	●		
④体験			● 地域デビュー入門講座		
					● ボランティア体験プログラム(随時受付中)



NPO法人入門講座(基礎編・運営編)



地域デビュー入門講座



市民活動・ボランティアフォーラム



NEW SOCIAL ACTION

企業の “新”社会貢献

企業が取り組む

さまざまな社会貢献活動。

その中でも、企業の特性を活かした
個性豊かなプログラムを紹介します。



01

ものづくり企業としての特徴を活かして

二輪車・航空機・鉄道車両・船舶などの輸送機器の製造で有名な川崎重工業株式会社。特徴的な社会貢献活動として「マイヘリコプターをつくろう!」という小学生向けの実験工作教室プログラムを実施しています。

これは、同社の製品であるヘリコプターの技術を活かした内容であり、軽い木材を使ったキットの組み立てを通して、飛ぶ仕組みなどを学ぶことができます。教室の中では、会社の従業員がコーチとなり、ただ組み立てるだけでなく、途

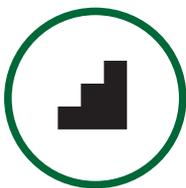
中で「飛ぶ力」=「揚力」を測る実験なども行います。その数値を見て、羽の形を改善したり、「学ぶ」「つくる」「楽しむ」「工夫する」という要素を一度に体験できる内容となっています。自分でつくったヘリコプターが実際に飛んだ時は「おお〜!」という感動の声があがります。

「技術の素晴らしさ」や「ものづくりの大切さ」を多くの子どもたちに感じてほしい想いから始まった川崎重工の実験工作教室プログラムは、2011年度の開始以来好評です。これからも毎年ひとつずつ新プログラムを投入予定とのことです。

川崎重工業株式会社

「マイヘリコプターをつくろう!」

01 興味津々にヘリコプターをつくる子どもたち
(丸枠内は、マイヘリコプターの完成形)



STEP UP

ステップアップ 講座

団体のステップアップにつながる
ツールや機会の活用法をご紹介します。
上手に活用して、今日からひとつ
スキルアップしてみましょう。

使える!ワーキングコーナー

あすみんには、団体の広報物やツール制作時に便利な、ワーキングコーナーがあります。印刷関連では、コピー機をはじめ、大部数の印刷で重宝する印刷機(リソグラフ)、A1サイズのポスターや横断幕を出力できる大判プリンタがあります。(印刷料金は右記をご参照ください)

さらに、紙折機や裁断機、製本機、ラミネーターも設置しています。特に、紙折機は二つ折だけでなく、三つ折り、観音折などさまざまな折り方ができるため、人気です。団体広報誌などの形に合わせて、ご利用ください。

あすみんで団体をPRする

活動に関わるポスターや広報物を壁面に掲示したり、ジャンルごとに分けられたラックに配架することもできます。掲示物を見て、ボランティアメンバーが集まったり、他団体・企業とのつながりが生まれたこともあります。身近なところから、情報発信をしてみませんか?

ご利用には、あすみんへの利用登録が必要となります。また、印刷物の原稿については、市民公益活動の推進に関連する内容であるかどうか、事前に確認をさせていただきます。

●印刷機(リソグラフ)

製版	50円/1版
印刷	10円/20枚(はがき~A4)
	10円/10枚(B4~A3)

●拡大・長尺プリンター

A1・普通紙・モノクロ	200円
A1・普通紙・カラー	280円
長尺・普通紙・モノクロ	30円/10cm

※その他の料金については窓口でご確認ください



01



02

あすみん活用で 団体のPRを強化しよう

01 様々な機器が揃ったワーキングスペース
02 大判ポスターの掲示やチラシ配架も可能



ASUMIN MUSEUM

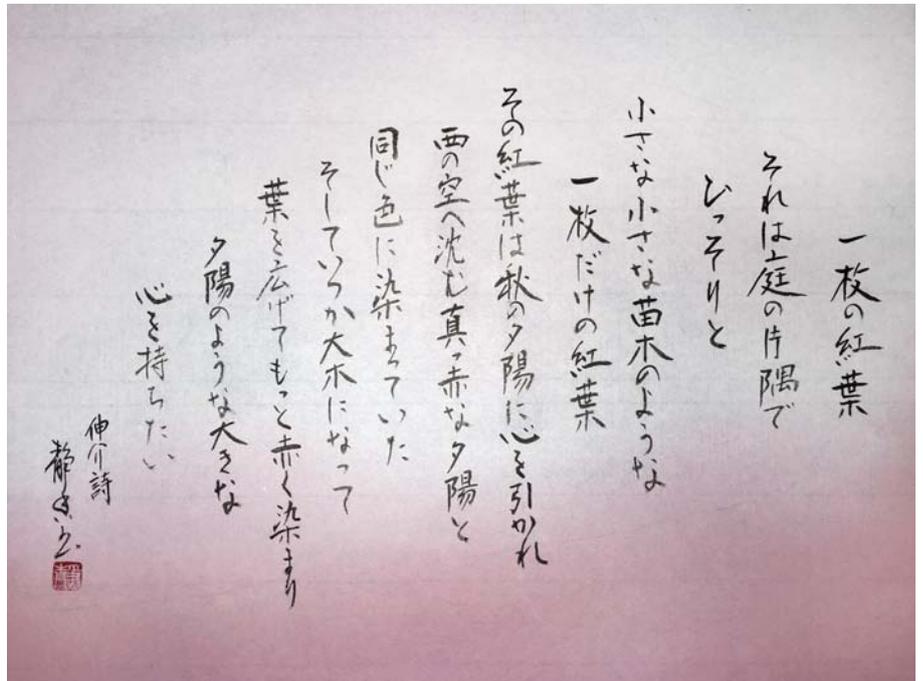
あすみん 美術館

アートを通して
人と人のつながりを生み出したい。
発表の場、コミュニケーションの機会となる
誌面ギャラリーです。

作品タイトル/作者

「一枚の紅葉」

市川伸介さん(いちかわしんすけ)



【作者コメント】「イジメなどで学校に行くのが嫌で不登校になった頃、飼っていた犬と家の庭で遊んでいた時に見つけた苗木のような小さな紅葉を思い出して詩にしました。残念ながら小さな紅葉は枯れてしまって、もうありません。」



NEW ORGANIZATION

新規登録団体

あすみに新たにご登録いただいた
NPO・ボランティア等の
団体を掲載します。
(2014.4~2014.9)

- 一般社団法人デザインのチカラ ●NPO法人コモンビート ●地域防災協会 ●工房くらし月
- (特活)九援隊 ●蓮葉井尻の会 ●NPO法人いるかねっと ●NPO法人メディエイド ●学生ボランティア団体カシオペア ●パステルアート「サン・ルーム」 ●西日本日独協会青年部 ●TFT-UA九州支部 ●このゆび ●対馬文書を読む会 ●sEnd ●不登校サポートネット ●ハタモク ●ナチュラルプロジェクト(NPJ) ●(特活)福岡・ネパール児童教育振興会 ●福岡当事者研究会 ●NPO法人ギフトッド ●一般社団法人福岡グループホーム研究会 ●ちょこっとおせっ会 ●NPO法人ウィッグリング・ジャパン ●(特活)九州補助犬協会 ●さくらいふFUKUOKA ●VCN福岡 ●14+ ●NPO法人日本ナラティブ音楽療法協会 ●血管奇形ネットワーク ●NPO法人Companion Animal Trust, Nippon ●ドッグスピリッツ ●(特活)ベアサー・ファウンデーション ●(特活)しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡 ●福岡西部子ども劇場 ●エッセイの会パピルス ●NPO法人博多港花と緑の会 ●OPENER ●ふくおか地域日本語の会 ●つくし歴史カフェ ●ふくふくの和 ●NPO法人しゅうえん ●一般社団法人大学女性協会福岡支部 ●公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団 ●ひまわりネット ●NPO法人わが家の119番 ●一般社団法人子育てカウンセラー協会福岡博多品川支部 ●戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会 ●NPO法人食空間コーディネート協会九州支部 ●共育:フラワーアップスクール ●NPO法人クロスカルチャーコミュニティ福岡

※団体の詳細な活動内容などについては、あすみんHPで検索ができます。

(登録順・51団体)

福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住所】 あすみんは2016年4月1日に、今泉に移転しました。

【TEL】 092-724-4801 【FAX】 092-724-4901

【MAIL】 info@fnvc.jp 【HP】 http://www.fnvc.jp

【開館時間】 月~土曜 10:00 ~ 22:00 日曜・祝日 10:00 ~ 18:00

【休館日】 第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- 地下鉄をご利用の場合 ●地下鉄空港線「天神駅」徒歩約4分 ●地下鉄空港線「赤坂駅」徒歩約6分
- バスをご利用の場合 ●西鉄バス「西鉄グランドホテル前」徒歩約1分
- 西鉄バス「大名2丁目」徒歩約2分
- 電車をご利用の場合 ●西鉄電車「西鉄福岡駅」徒歩5分

